

「知」の集積と活用⑥

木質外被研究開発プラットフォームシンポジウム

－木材のカスケード利用と地域社会との関わり－

地域資源である木材のカスケード利用の実現を目指し、分野・業種を超える多くの方々を対象としたシンポジウムを開催します。

地域資源である木材は、私たちがまだ知らない利用方法や可能性があります。

本シンポジウムでは、地域木材の木材化学最先端利用や良質材利用などを紹介し、木材のカスケード利用をすすめる地域協同の取り組みと地域社会のあり方について、参加者の皆さんと考えます。

開催日時：平成30年11月9日（金）午後1時15分から4時15分

受付開始12時30分

開催場所：まつもと市民芸術館小ホール（長野県松本市深志3-10-1）

参加費：無料（募集参加者数：200名）

参加申し込み：木質外被研究開発プラットフォーム管理運営機関にFAX又はメールにて申し込み又は御連絡下さい。

FAX：0263-51-5352 メール：info@kazu-design.co.jp

木質外被研究開発プラットフォーム管理運営機関：有限会社和建築設計事務所

参加申し込み期限：2018年11月2日（金）午後5時

木質外被研究開発プラットフォームシンポジウムは、農林水産省「知」の集積による産学連携推進事業のうち研究開発プラットフォーム運営等委託事業の一環として開催されます。

主催：「知」の集積と活用⑥ 木質外被研究開発プラットフォーム

後援：長野県松本地域振興局、長野県北アルプス地域振興局、

日本政策金融公庫、松筑木材協同組合、松本広域森林組合、

「知」の集積と活用⑥ 産学官連携協議会



木質外被研究開発プラットフォームシンポジウムでは下記の内容を予定しています。

○ 農林水産省「知」の集積と活用のもと木質外被研究開発プラットフォームの取組み説明

○ 講演「バイオマス資源由来化合物の利用法のヒント」

講師：国立大学法人群馬大学大学院理工学府分子科学部門助教 橋 熊野氏

○ パネルディスカッション

木質外被研究開発プラットフォーム会員企業の研究開発の取組み、長野県北アルプス地域振興局の取組み、木質外被研究開発プラットフォームの取組みを含め木材のカスケード利用と地域社会との関わりについて討議をします。

発表者：株式会社山崎屋木工製作所（木製サッシ/千曲市）アルス株式会社（木製サッシ/山形市）
高広木材株式会社（木外壁材/東京都） 株式会社テオリアランバーテック（木材改質材/松本市） 長野県北アルプス地域振興局（地域振興/大町市）一般社団法人地域政策デザインオフィス（健康長寿/東京都）

※シンポジウムの開催時間は3時間を予定しています。

※シンポジウム閉会后、まつもと市民芸術館内にてレセプション（予約会費制/2,500円）を開催します。こちらもご参加下さい。

木質外被研究開発プラットフォームシンポジウム 参加申し込み FAX：0263-51-5352

参加者名： _____ ☐レセプション（予約会費制）参加

（所属名） _____

参加者名： _____ ☐レセプション（予約会費制）参加

（所属名） _____

参加者の個人情報、当シンポジウムに関する連絡・確認の目的で利用させていただき、その他の目的では使用しません。

会場へは、公共交通機関を利用下さい。

木質外被研究開発プラットフォームとは？

農林水産省の「知」の集積と活用のもと 産学官連携協議会に登録した 建築物の木質外被を商品化するために必要な理化学的な研究開発を行うことを目的とし、会員が組織、分野、地域等の垣根を超えて連携し、新たな商品化・事業化を目指し共同して研究開発に取り組むオープンな活動母体です。

本プラットフォームは、2016年に設立し、「木質開口部分野」「木質壁分野」「木材改質・木質断熱材分野」「木質製品製造システム分野」「健康長寿研究開発分野」の研究開発コンソーシアムがあります。国内企業、研究機関、個人の21会員で活動をしています。会員の募集も行っています。

農林水産省「知」の集積と活用のもと 産学官連携協議会ホームページ
<https://www.knowledge.maff.go.jp>